

令和2年度 藻場再生事業体験学習実施計画

1. 目的

- (1) アラメの藻場体験学習を通して自分たちの住む郷土の漁場や海の環境の実態を知る。
- (2) 地場産業への認識を深めるとともに、勤労の尊さ、仲間との協力、自然との関わり大切さを学び、郷土と海を愛する心を育てる。
- (3) 海の生態系や藻場の役割などに関わる学習や体験を通して、身のまわりの多様な自然に気づき、その実態から自分の行動を考える姿勢をもつ。

2. 期 日	PART 1	5月12日(火)	5、6限目	13:30	移動
	PART 2	5月26日(火)	5、6限目	13:00	移動
	予備日	6月2日(火)	5、6限目	13:00	移動

*小学校のヒラメ放流との兼ね合いがある。

3. 場 所

大答志 及び 沖

4. 参加者	生徒	3年生	男子10名	女子5名	計	15名
	引率	学校長、酒徳、野村、大上、(中村愛)			計	5名

5. 日 程

*PART 1	5月12日(火)	13:30~	大答志へ移動
		14:30~	モルタル付け作業の手伝い (時間を見て、ロープワーク体験)
		16:00	現地解散

⇒臨時休校のため、実施せず

*PART 2 5月26日(火)

*45分授業

- 12:45 学活(帰りの会)
- 13:00 移動(荷物を家に置いてくる、ぬれてもよい服装に着替えてくる。)
- 14:00 大答志に集合
- 14:05 整列して作業の説明
 - ・集会の体勢で整列、出欠確認(級長が確認、担任へ連絡)
 - 作業の手順の説明を聞く
- 作業開始
 - ・アラメの種を付ける岩を船に積み込む作業をする。
 - ・2隻の漁船で沖まで出る。そこから船外機ボートに乗り換えて大築海周辺の藻場まで行く。
 - ・アラメの苗を岩に結びつける。
 - ・苗を結びつけた岩を海に沈める作業をする。

※裏面に続く

15:00頃 沖から大答志に帰ってくる。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 校長先生あいさつ2. 学級代表（山下楓雅）藻場再生委員さんにお礼
※お世話をしてくれた委員さんに、感謝の気持ちを伝える |
|---|

16:00 現地解散

6. 準備物
- Part 1 : 体操服（汚れてもいい服）
- Part 2 : 濡れてもいい服装、カッパ、長靴、ゴム手袋
作業用手袋、タオル、水分
（当日の天候を把握して、帽子など）

*事前学習として、5月25日（月）4限目に、水産研究所・岩尾さんに来ていただき、藻場の役割や活動の意義などの講義を行う。